



平成 19 年 10 月 30 日

各 位

会社名 旭松食品株式会社  
代表者名 代表取締役社長 赤羽 源一郎  
(コード 2911 大証第2部)  
問合せ先 執行役員経理部長 足立 恵  
(TEL 06-6306-4121)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 5 月 17 日の決算発表時に公表しました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の中間期および通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 20 年 3 月期 中間連結業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想（A）	8,800	30	40	-
今回修正（B）	8,483	137	111	92
増減額（B - A）	316	167	151	92
増減率（％）	3.6	-	-	-
前期(平成 18 年 9 月期)実績	8,710	49	57	3

#### 2. 平成 20 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	18,700	200	200	80
今回修正（B）	18,100	70	80	50
増減額（B - A）	600	130	120	30
増減率（％）	3.2	65.0	60.0	37.5
前期(平成 19 年 3 月期)実績	18,299	216	245	90

3 平成 20 年 3 月期 中間業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想（A）	8,600	30	40	-
今回修正（B）	8,149	169	140	108
増減額（B - A）	450	199	180	108
増減率（％）	5.2	-	-	-
前期(平成 18 年 9 月期)実績	8,460	61	69	14

4 平成 20 年 3 月期 通期業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	18,000	180	200	70
今回修正（B）	17,500	50	70	30
増減額（B - A）	500	130	130	40
増減率（％）	2.8	72.2	65.0	57.1
前期(平成 19 年 3 月期)実績	17,801	217	245	98

5 修正の理由

当中間連結会計期間につきましては、売上高は第 1 四半期まで順調に推移いたしましたが、夏場の記録的な猛暑による米飯離れにより減少いたしました。さらに、原油高による包装資材費、輸送コストの上昇等もあり売上原価高となるなか、固定費の削減に努めましたが、営業利益、経常利益、中間純利益ともに予想を下回る見込みとなりました。

なお、第 1 四半期において平成 19 年度改正法人税法の規定に基づく有形固定資産の減価償却方法を採用しておりましたが、当中間連結会計期間において改正前の方法に変更しております。これは、当社の主原料であります大豆価格の高騰が一過性のものではなく、ここ数年は大幅な改善が見込みにくいこと、また、収益と費用のバランスを再考した結果、食品製造業の特性から短期に製造設備等の固定資産が陳腐化することは考えにくく、従来計算方法をさらに割増する方法は実態にそぐわないと判断いたしました。

通期につきましては、売上高では売上原価高等を吸収できる大幅な改善も見込めないこと、また、営業利益、経常利益、当期純利益に関しましては、予想を上回る大豆価格の高騰や原油高による包装材料等の高騰、輸送コストの上昇などの影響も本格化することから、今後は更なる採算改善を検討してまいります。現状を踏まえ当初予想を下回る見込みとしております。

6 期末配当金について

平成 19 年 5 月 17 日の決算発表時に公表いたしました配当予想につきましては、変更ございません。（1 株当たり 10 円）

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上